

ID	
氏名	
年齢	
科名	病棟

FOLFIRI + Panitumumab療法

2 週毎 コース予定

疾患名 大腸癌(KRAS遺伝子野生型)

主治医 指導医 HBs抗原()、HBs抗体()、HBc抗体()、HCV抗体()
スケジュール

			day1	day2
ベクティビックス(パニツムマブ) 6 mg/kg			↓	
レボホリナート	200 mg/m ²		↓	
イリノテカン	150 mg/m ²		↓	
フルオロウラシル	400 mg/m ²	点滴静注	↓	
フルオロウラシル	2400 mg/m ²	46時間持続点滴	→	→

- 【注意】 *パニツムマブはインラインフィルター(0.2又は0.22ミクロン)を用いて投与すること
*パニツムマブは通常、生食で希釈し全量を100 mLにして60分以上かけて点滴静注する
(1回投与量が1000mgを超える場合は全量150 mLとし、90分以上かけて投与する)
*必要時 化学療法開始前日から半夏瀉心湯7.5 g 3×毎食前 内服開始
または 重曹1.8 g 3×毎食後 内服 4日間
*イリノテカン使用前に腹痛・下痢がないことを確認する。

通常量より減量する際の理由

(レジメン)

day 1

- | | |
|----------------------------|--------------|
| ① 生食 500 mLにて血管確保 | 維持(20 mL/時間) |
| ② グラニセトロン注 3 mg | 側管静注 |
| デキサメタゾン注 6.6 mg + 生食 20 mL | 側管静注 |

◎ メインの生食でルート内フラッシュ

③ ベクティビックス + 生食 適量(全量 100 mL) 点滴静注60分(100 mL/時間)

(1回投与量が1000 mgを超える場合は全量150 mLとし、90分以上かけて投与する)

◎ メインの生食でルート内フラッシュ

- ④ イリノテカン + 5%ブドウ糖250 mL } 同時滴下
レボホリナート + 5%ブドウ糖250 mL } 2時間で点滴注射
- ⑤ フルオロウラシル + 生食 50 mL 点滴静注5分(600 mL/時間)
- ⑥ フルオロウラシル + 生食 適量(全量 140 mL)

インフューザーポンプ (3.7 mL/時間) にて46時間で持続点滴

インフューザーポンプに2日分(46時間分)を一度につめます

day 2, 3 必要時 デキサメタゾン錠 8 mg 内服

	コース	コース	コース	コース	コース	コース	コース
月 日	/	/	/	/	/	/	/
ベクティビックス 開始時間	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
イリノテカン レボホリナート 開始時間	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
フルオロウラシル (全開点滴) 開始時間	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
フルオロウラシル (持続点滴) 開始時間	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
確認							